

新居浜市シティブランド戦略
市民アンケート調査報告書

調査概要

<調査目的>

- ・ 居住歴パターン（新居浜市出身か、Uターンか、市外出身か）など、市民の基本的プロフィールを明らかにするとともに、市への好意度などの現状評価を把握することで、「新居浜市シティブランド戦略」立案のための基礎資料とする。
- ・ 今後定期的に実施することで、「新居浜市シティブランド戦略」のベンチマーク＝目標管理のための指標とする（今回調査はその初期値の設定と位置付けられる）。

<調査手法>

- ・ 郵送調査

<調査対象者>

- ・ 新居浜市内在住の15歳以上の男女（平成28年7月4日時点の住民基本台帳から、平成13年7月1日以前生まれの者を無作為抽出、但し1世帯につき1名）
- ・ 配布数 1,400／回収数 705／回収率 50.4%

<主な調査項目>

- ・ 市の総合評価（好意度、住みやすさ、誇り・自慢度、居住推奨度、継続居住意向）
- ・ 市の個別評価（印象、施策評価、魅力的でない点、好きな地域資源、今後の理想像）
- ・ 市民の特性（デモグラフィック特性、居住歴パターン、転出入の理由、通算居住年数、今後の転出予定など）

<調査期間>

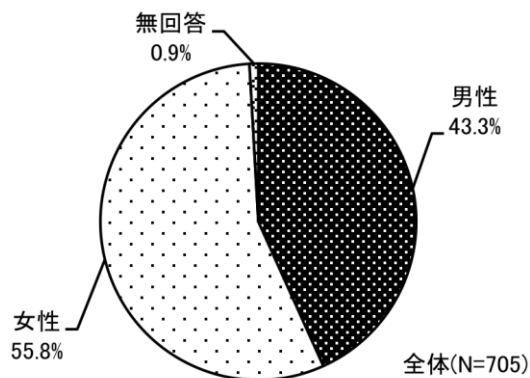
- ・ 2016年（平成28年）7月7日～29日

<調査機関>

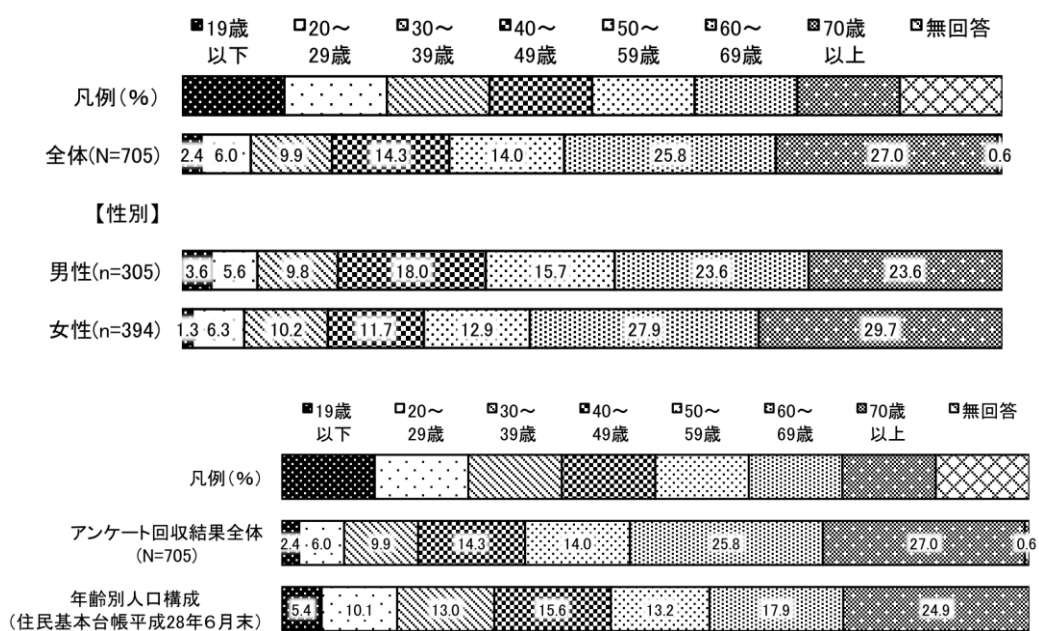
- ・ 株式会社中国四国博報堂、株式会社博報堂

調査結果 I 新居浜市民の特性

【性別】（問 11）



【年齢】（問 12）

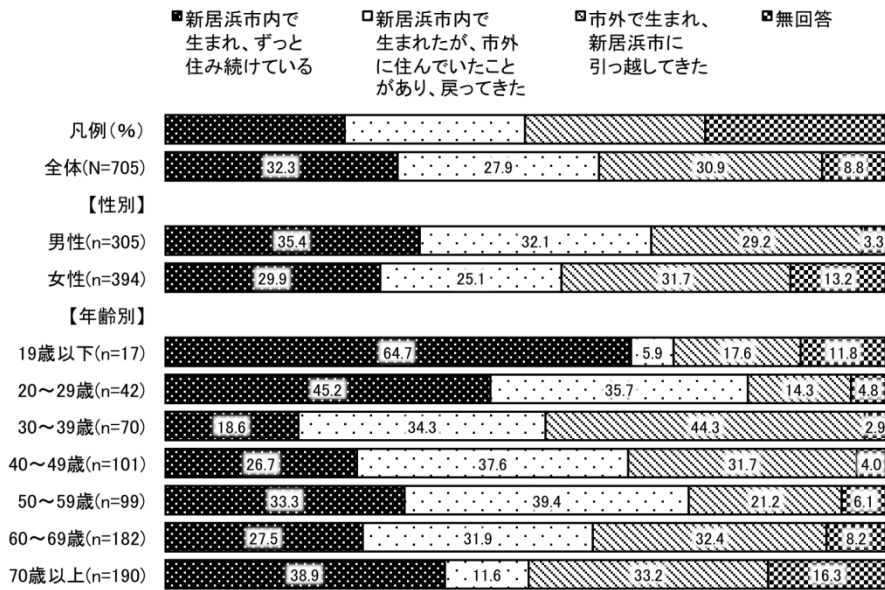


■ 60代以上が 52.8%と過半数を占める。住民基本台帳で60代以上の占める比率は15歳以上の42.8%であり、高齢者の回答率の高いことがわかる。特に60代女性が高い。

男 15	男 20	男 30	男 40	男 50	男 60	男 70-	女 15	女 20	女 30	女 40	女 50	女 60	女 70-
1.6	2.4	4.3	7.8	6.8	10.2	10.2	0.7	3.5	5.7	6.5	7.2	15.6	16.6
2.7	5.3	6.6	7.9	6.6	8.5	9.7	2.7	4.8	6.4	7.6	6.6	9.4	15.2

※上段：本調査の構成比 (%)、下段：住民基本台帳の人口構成比 (%)

【居住歴パターン（生まれ育った場所）】（問 24）



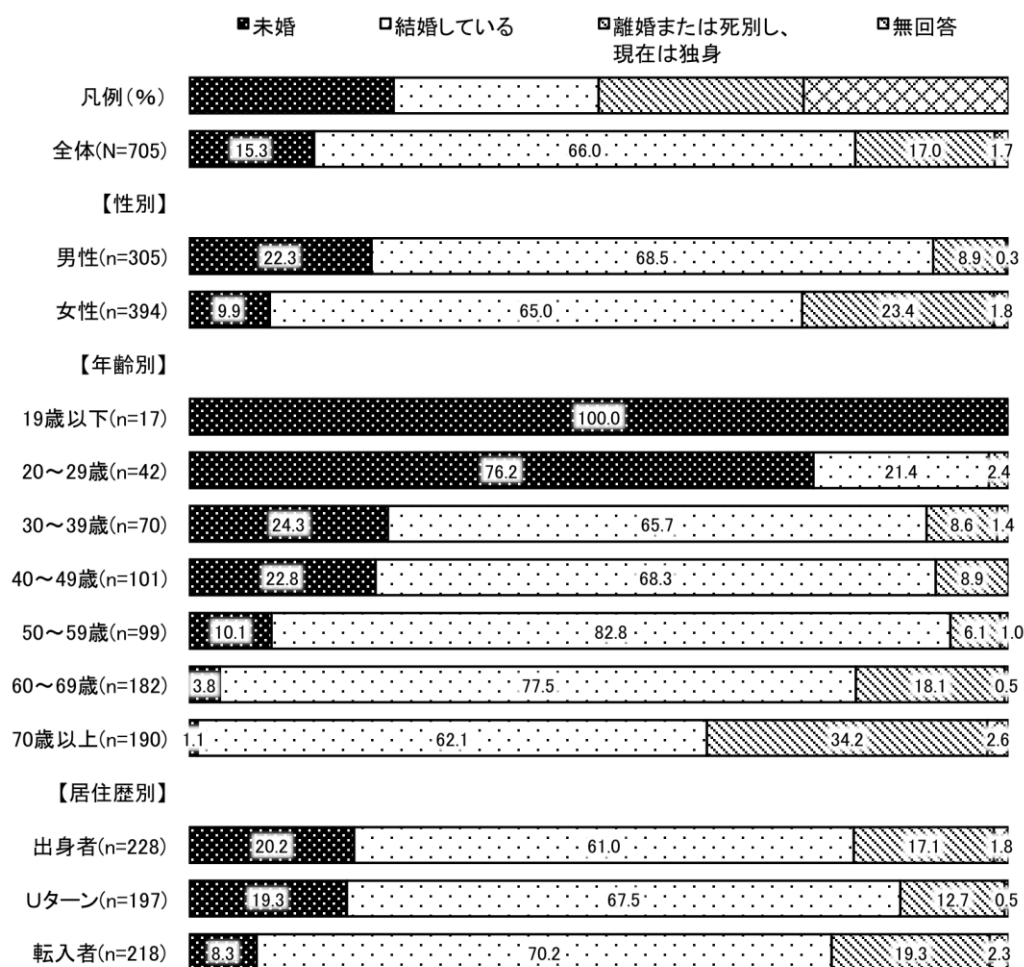
- 「出身者」（新居浜市内で生まれ、ずっと住み続けている）、「Uターン」（新居浜市内で生まれたが、市外に住んでいたことがあり、戻ってきた）、「転入者」（市外で生まれ、新居浜市に引っ越してきた）の比率はおおよそ1/3ずつである。
- Uターンが相対的に多いのは20-50代、転入者が多いのは30代となっている。
- 転入者は、男性では30代が多いのに対して、40-60代は少なく、70代が多くなっている。30代に比べ40、50代で少ないのが、転出のためか、時代要因なのかは不明。

縦	全体	男-20	男 30	男 40	男 50	男 60	男 70-	女-20	女 30	女 40	女 50	女 60	女 70-
100%	(705)	(28)	(30)	(55)	(48)	(72)	(72)	(30)	(40)	(46)	(51)	(110)	(117)
出身	32.3	57.1	23.3	30.9	39.6	30.6	37.5	43.3	15.0	21.7	27.5	25.5	40.2
Uturn	27.9	21.4	26.7	41.8	45.8	37.5	16.7	33.3	40.0	32.6	33.3	28.2	8.5
転入	30.9	14.3	50.0	25.5	12.5	27.8	41.7	16.7	40.0	39.1	29.4	35.5	27.4

※ □は全体より10%以上高い数値

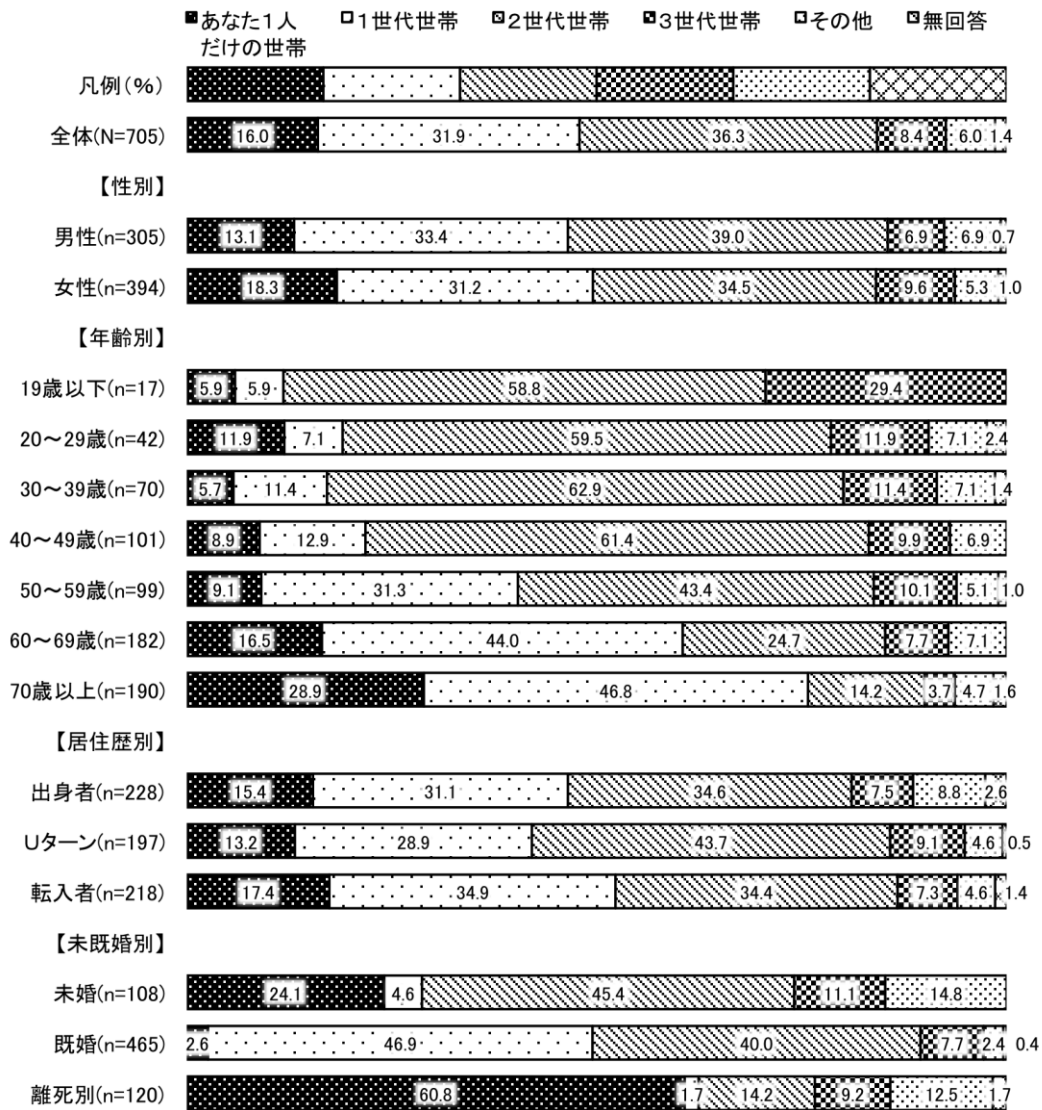
出身者、Uターン、転入者の合計が100%にならないのは無回答がいるため

【未既婚】（問 13）



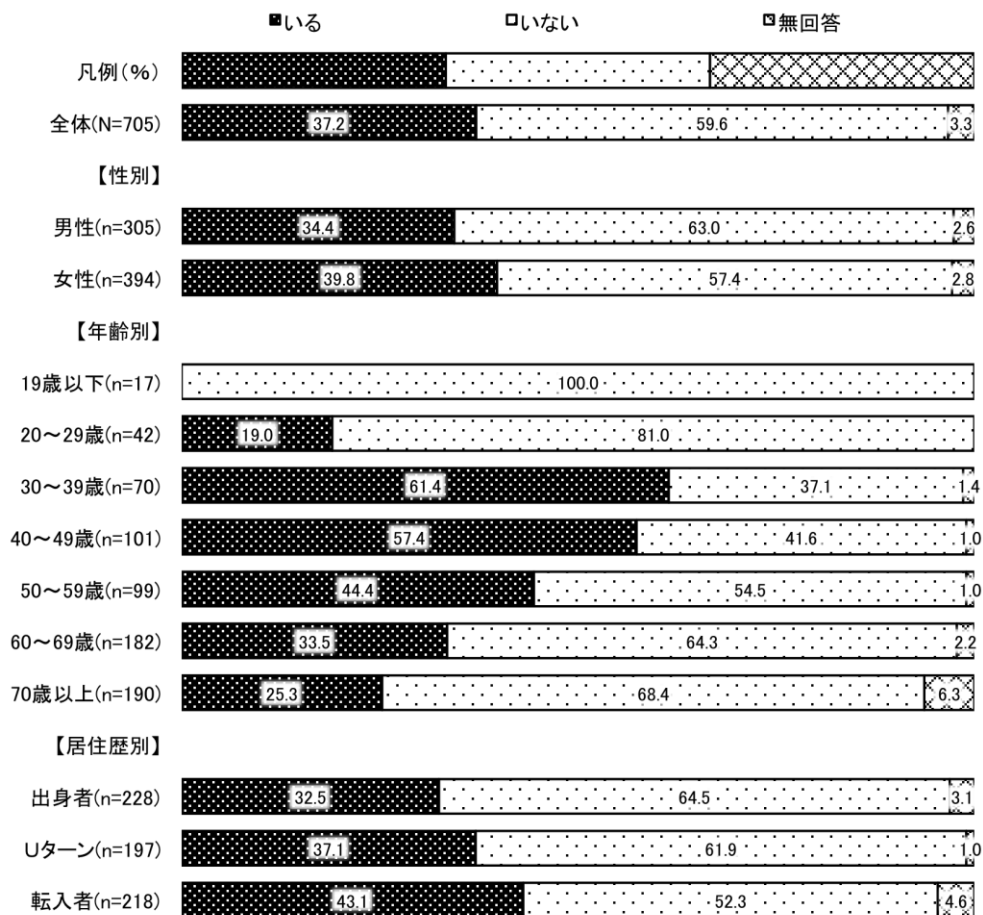
■ 未婚 15%、既婚 66%、離死別 17%。

【家族構成】（問 14）



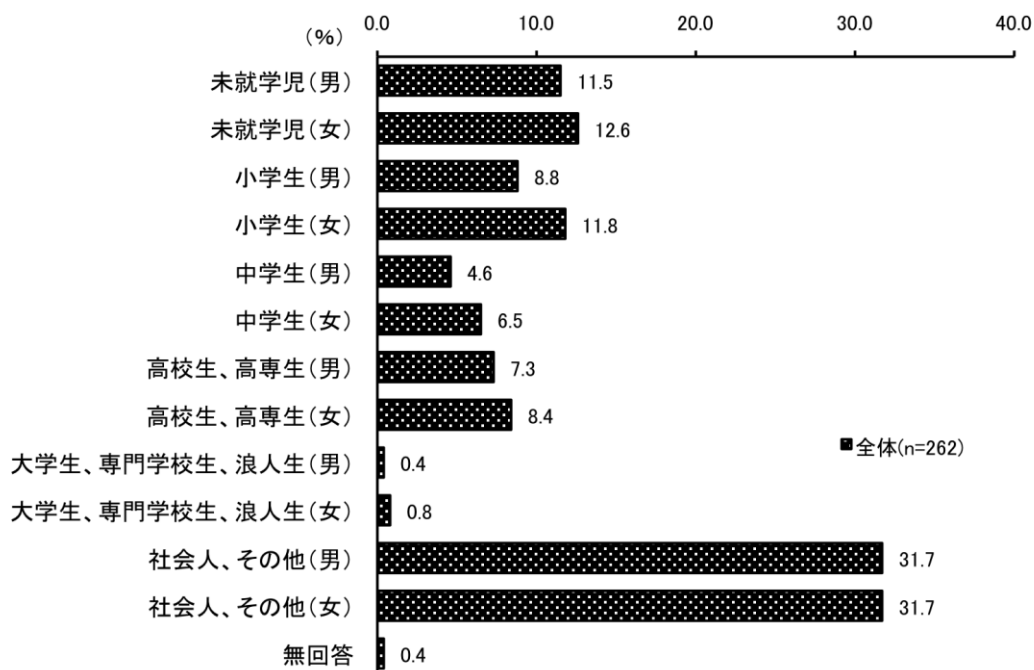
■ 単身世帯 16%、1 世代世帯（夫婦のみ） 32%、2 世代世帯（親と子） 36%、3 世代世帯 8%。

【同居している子どもの有無】（問 15）



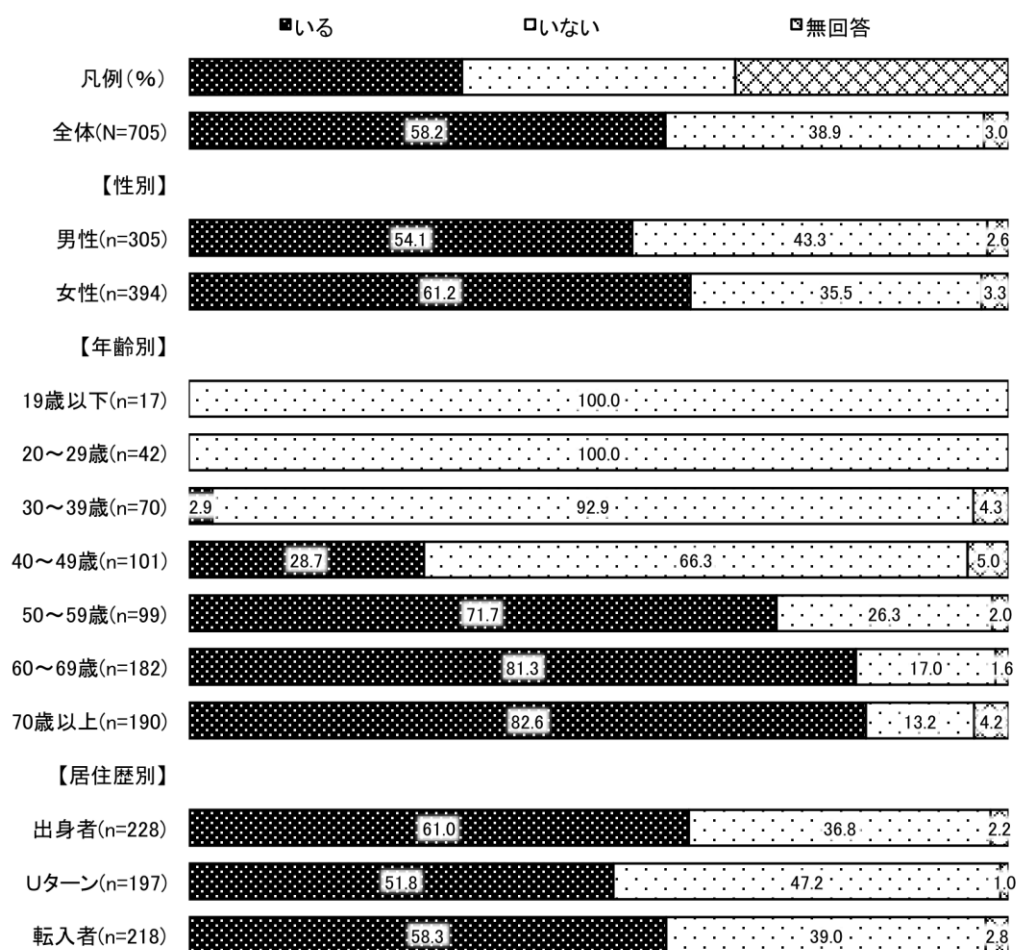
- 同居している子どもがいるのは4割弱。
- 30-40代の6割、50代の4割に同居している子どもがいる。

【同居している子どもの区分】（問 16・「同居している子どもがいる」が 100%）



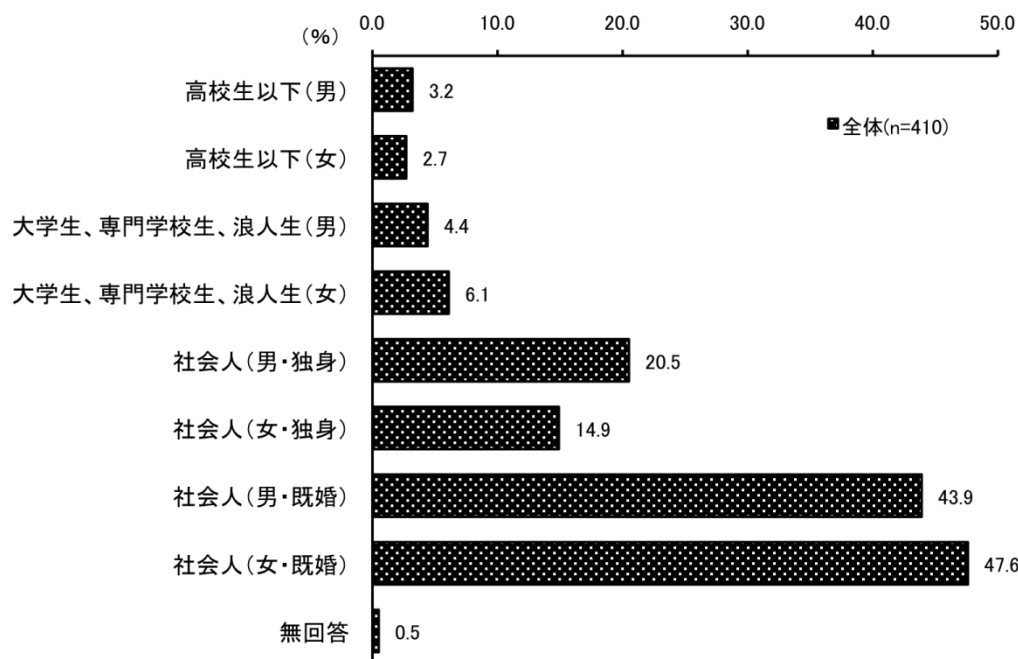
■ 大学生の子どもと同居している人はほとんどいない。進学でほぼ全員市外に出ていく構造が明確。

【別居している子どもの有無】（問 17）

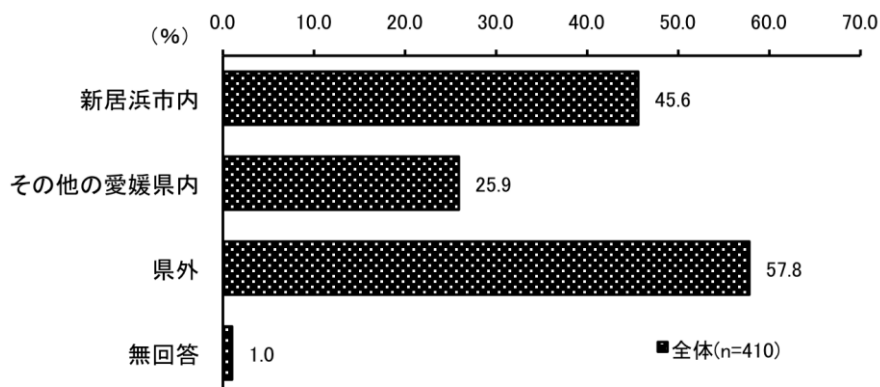


- 別居している子どもがいるのは6割弱。
- 50代の7割、60代以上の8割に別居している子どもがいる。
- なお、同居している子ども・別居している子どもの両方がある人は19%、同居のみは17%、別居のみは36%、両方いない人は22%となっている。

【別居している子どもの区分】（問 18・「別居している子どもがいる」が 100%）

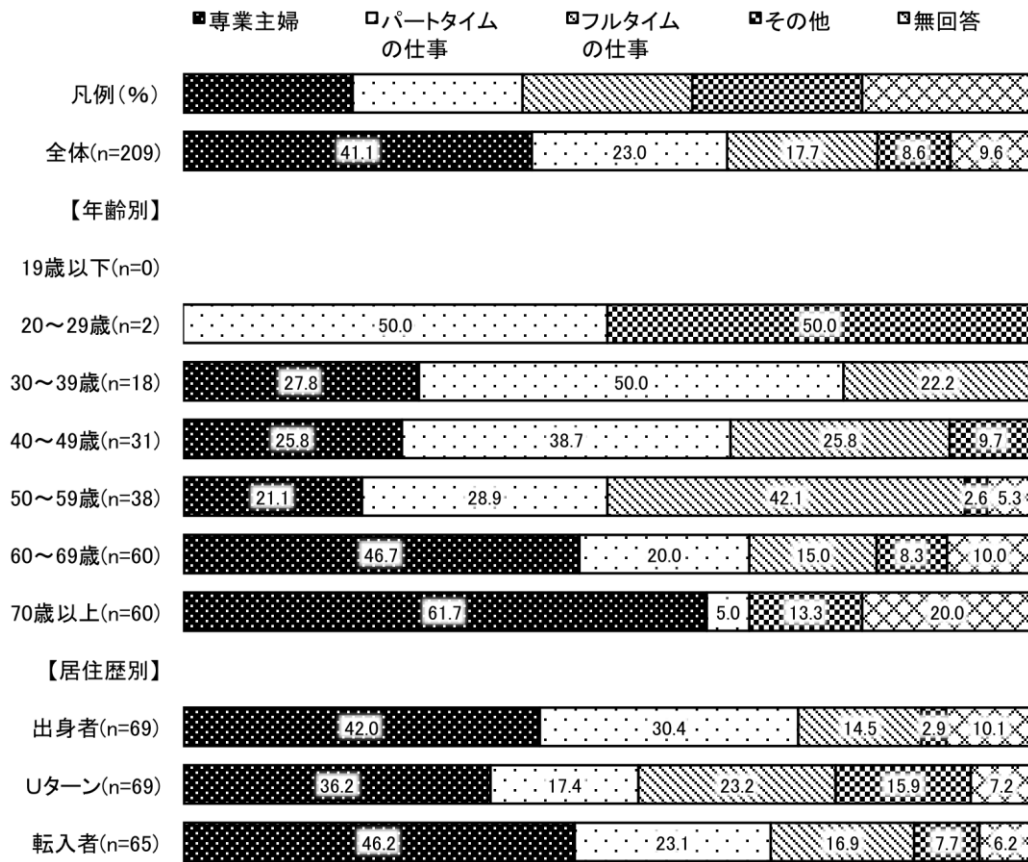


【別居している子どもの居住地】（問 19・「別居している子どもがいる」が 100%）



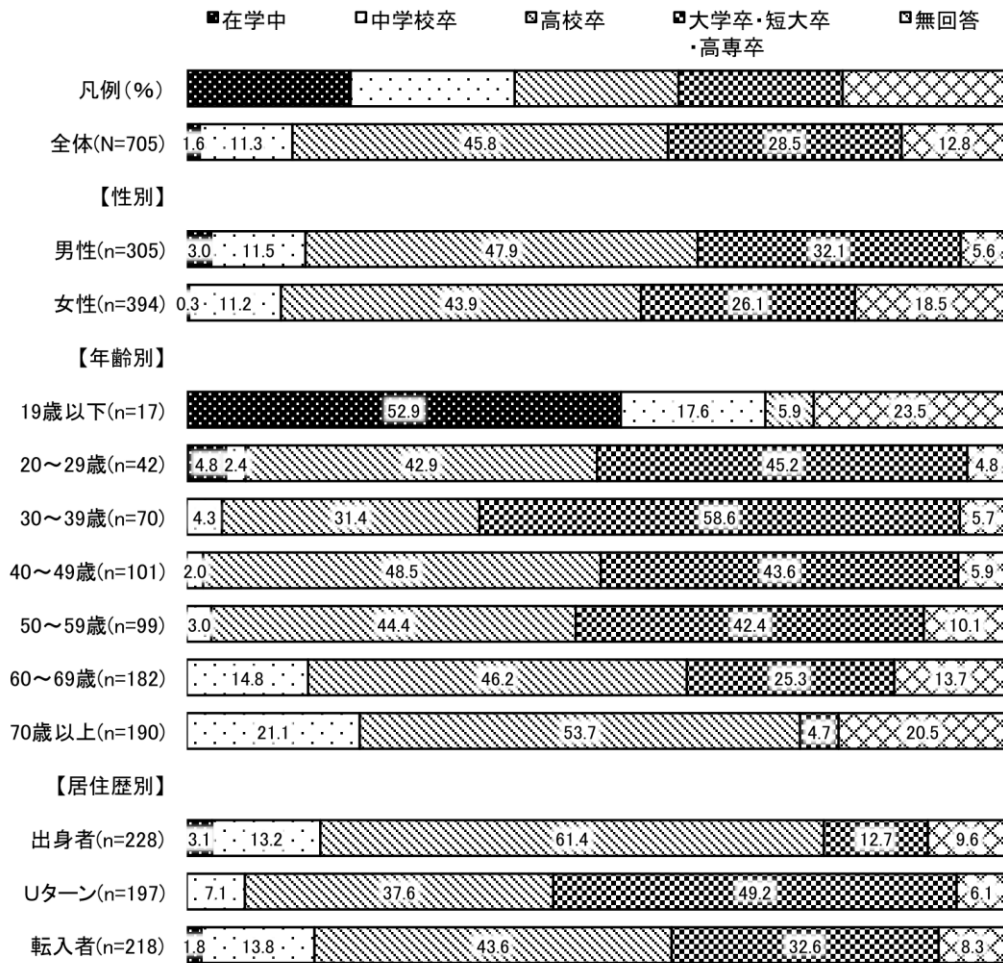
- 市内に別居している子どもがいる人が半数弱（全体の 3 割弱）、その他県内に別居している子どもがいる人が 1/4（全体の 15%）、県外に別居している子どもがいる人が 6 割（全体の 3 割強）。（複数回答なので、重複あり）
- 大学生の子どもでは、県外が 3/4。社会人独身の子どもでは市内が 4 割、県外が 7 割。社会人既婚の子どもでは、市内が 6 割、県外が 6 割。

【既婚男性の配偶者職業】（問 20・既婚男性が 100%）



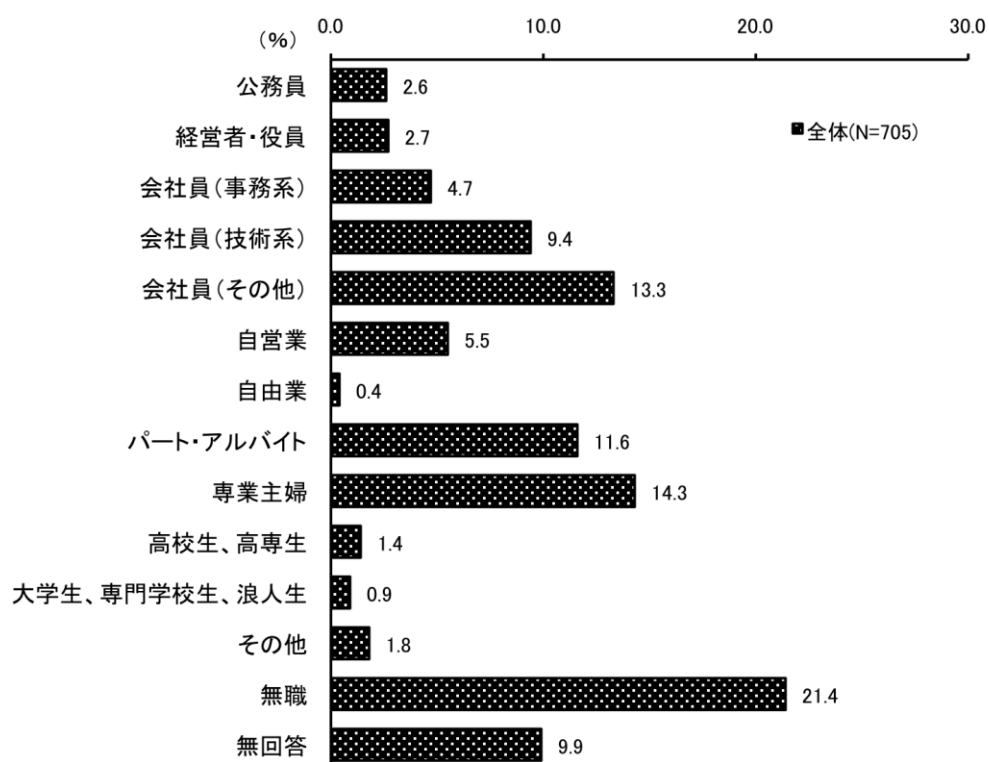
- 専業主婦が 4 割、パートタイムが 2 割強、フルタイムが 2 割弱。30 代から加齢に伴い、パートタイム、専業主婦の比率が減り、フルタイムが増えるが、60 代以上は専業主婦が中心となる。

【最終学歴】（問 21）



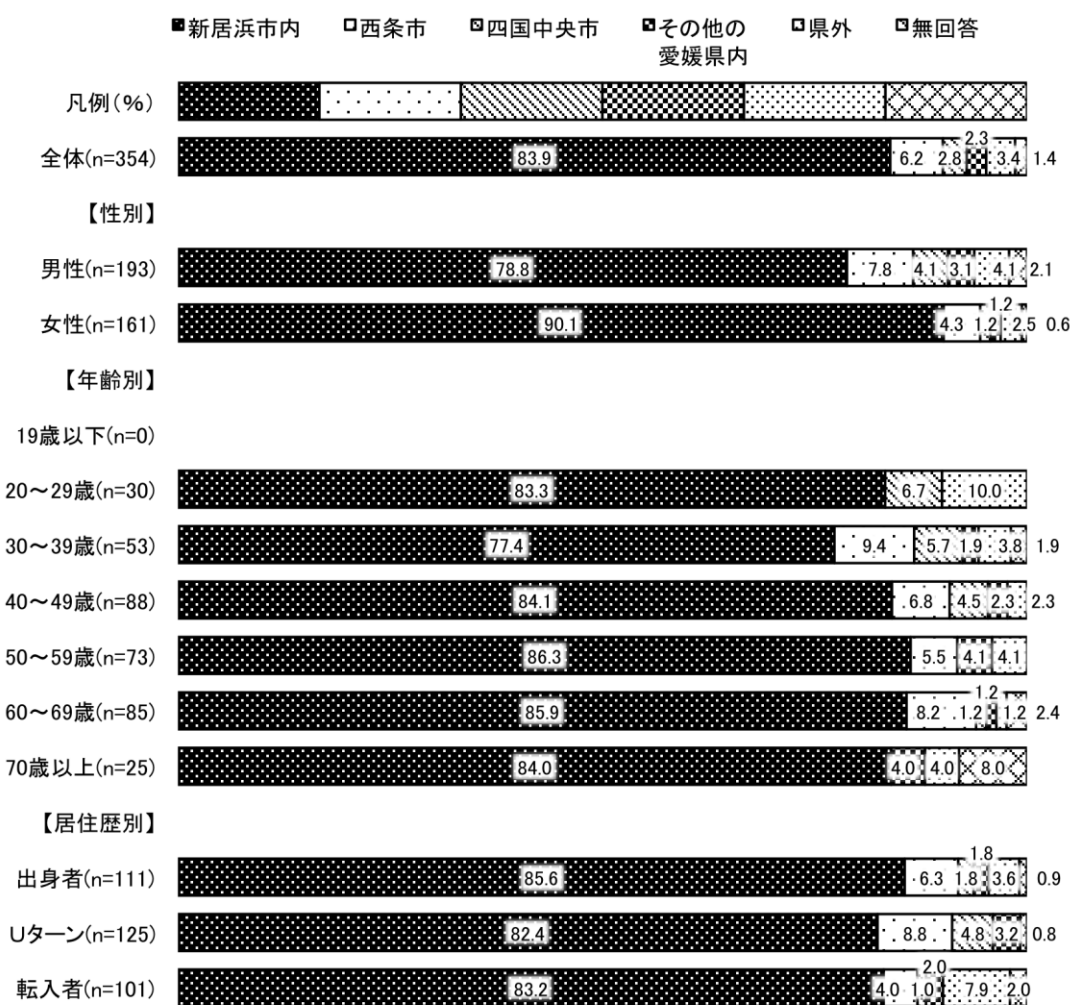
- 大卒比率は全体で3割弱だが、20代、40代、50代で4割台前半、30代では6割弱となっている。30代の大卒比率が高いのは転入者比率が高いため、★50代以下の転入者の大卒比率は男女ともに5割強。
- 出身者では大卒は1割強、高卒が6割なのに対して、Uターンでは大卒が5割、高卒は4割弱である。

【職業】（問 22）



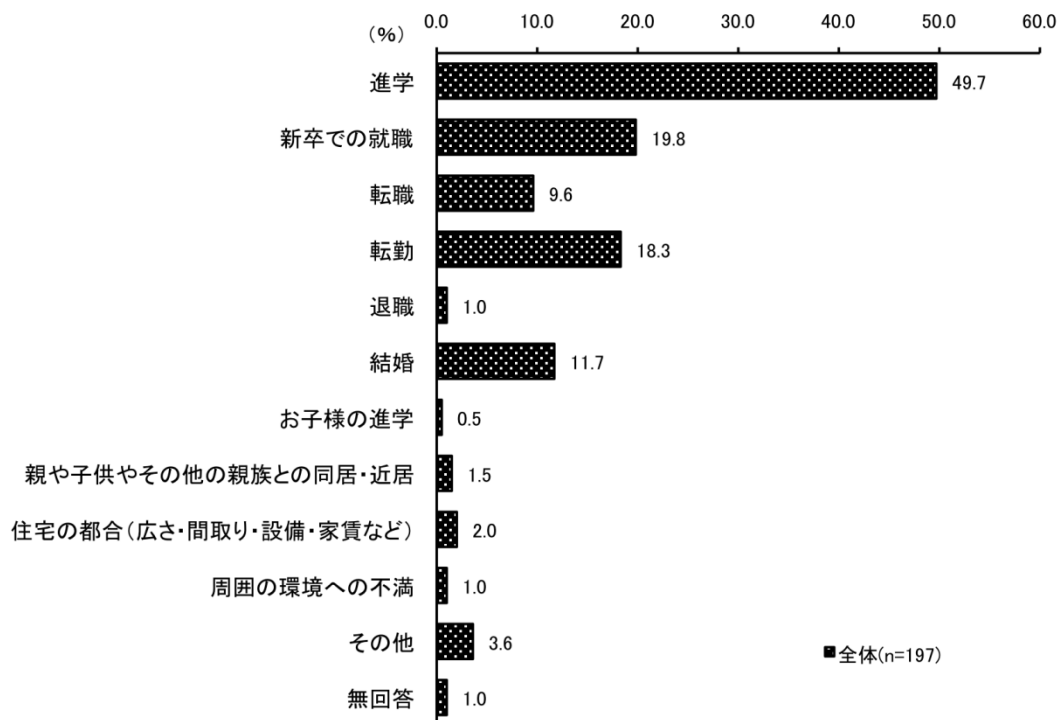
- 30代男性の5割が会社員（技術系）、1/3が会社員（その他）と特徴的。
- 会社員（技術系）、会社員（その他）の比率は、40代男性で1/4、2割弱、50代男性で1/4、3割。

【勤め先の地域】（問 23・有職者が 100%）



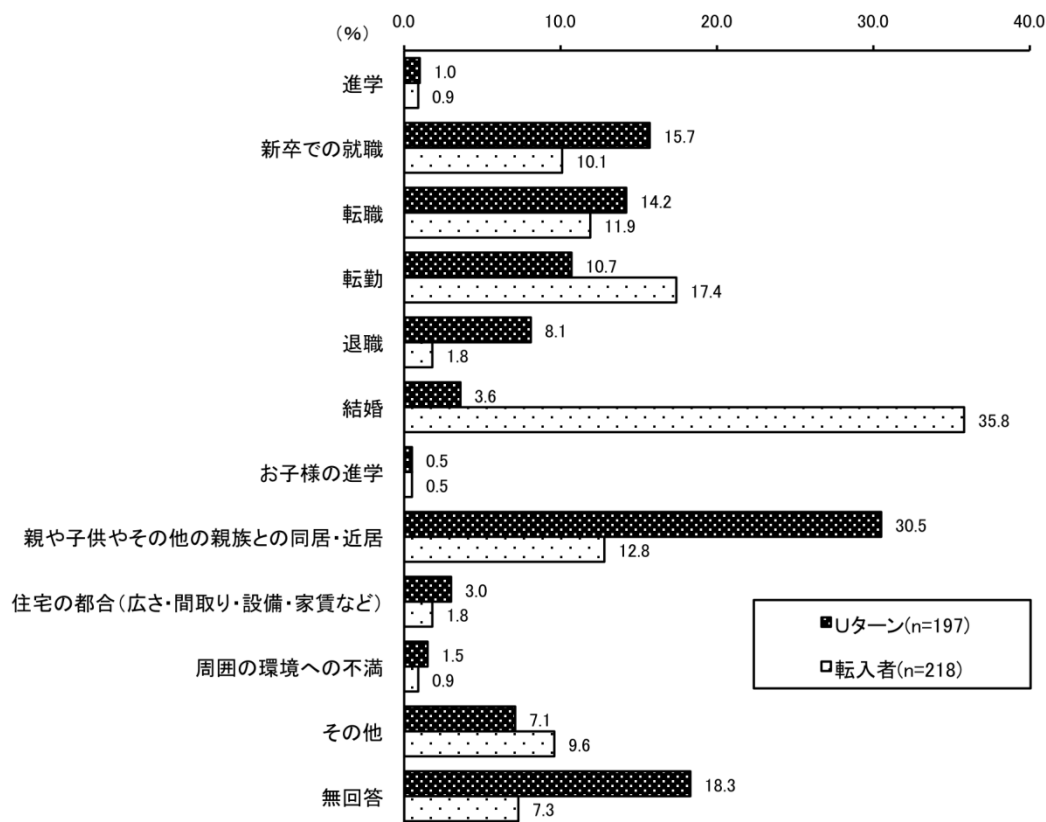
■ 有職者（パート・アルバイトを含む）の8割強が市内で働いている。

【市外への転居理由】（問 25・複数回答・Uターン層が 100%）



- Uターン層の転出目的の5割は進学。新卒での就職、転勤がそれぞれ2割。
- 進学が目的は、20代で9割、30-40代で2/3。新卒での就職は30代で3割。転勤は50代以上で3割前後。

【新居浜市への転居理由】（問 26・複数回答・Uターン層、転入者それぞれが100%）



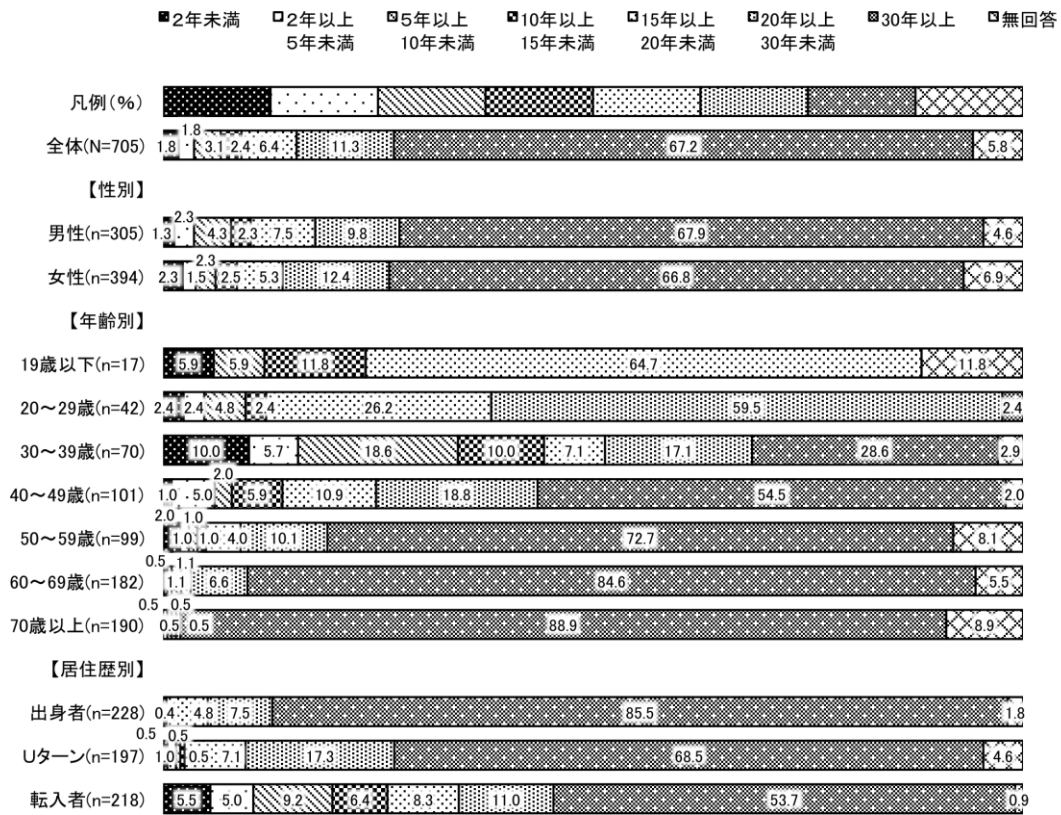
■ Uターン層の最大の転入目的は、親などとの同居・近居で3割。新卒での就職、転職がそれぞれ15%程度。（回答は複数回答）

■ 転入者の最大の転入目的は、結婚で1/3。転勤が2割弱、新卒での就職、転職がそれぞれ1割。50代以下の男性に絞ると、転勤3割弱、転職、新卒での就職が2割程度で、合わせて7割となる。

※下表は転入者の性年代別の転入目的

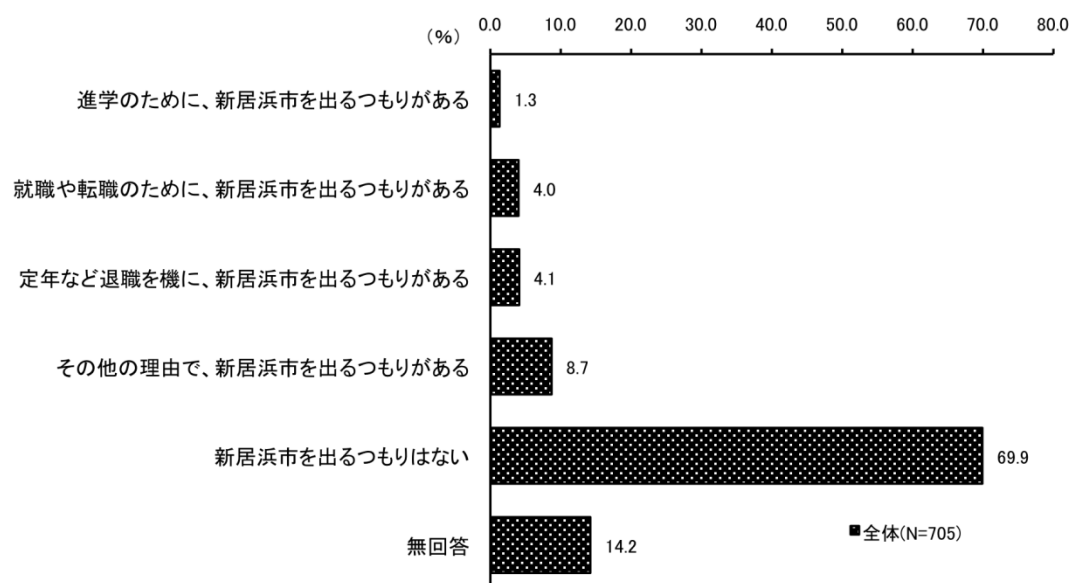
(%)	新卒での就職	転職	転勤	結婚	親等と同居近居
男50代以下(39)	<u>17.9</u>	<u>20.5</u>	<u>28.2</u>	12.8	10.3
男60代以上(50)	12.0	<u>18.0</u>	<u>20.0</u>	10.0	<u>24.0</u>
女50代以下(54)	11.1	11.1	14.8	<u>48.1</u>	5.6
女60代以上(71)	4.2	2.8	11.3	<u>56.3</u>	12.7

【新居浜市内での通算居住年数】（問 27）



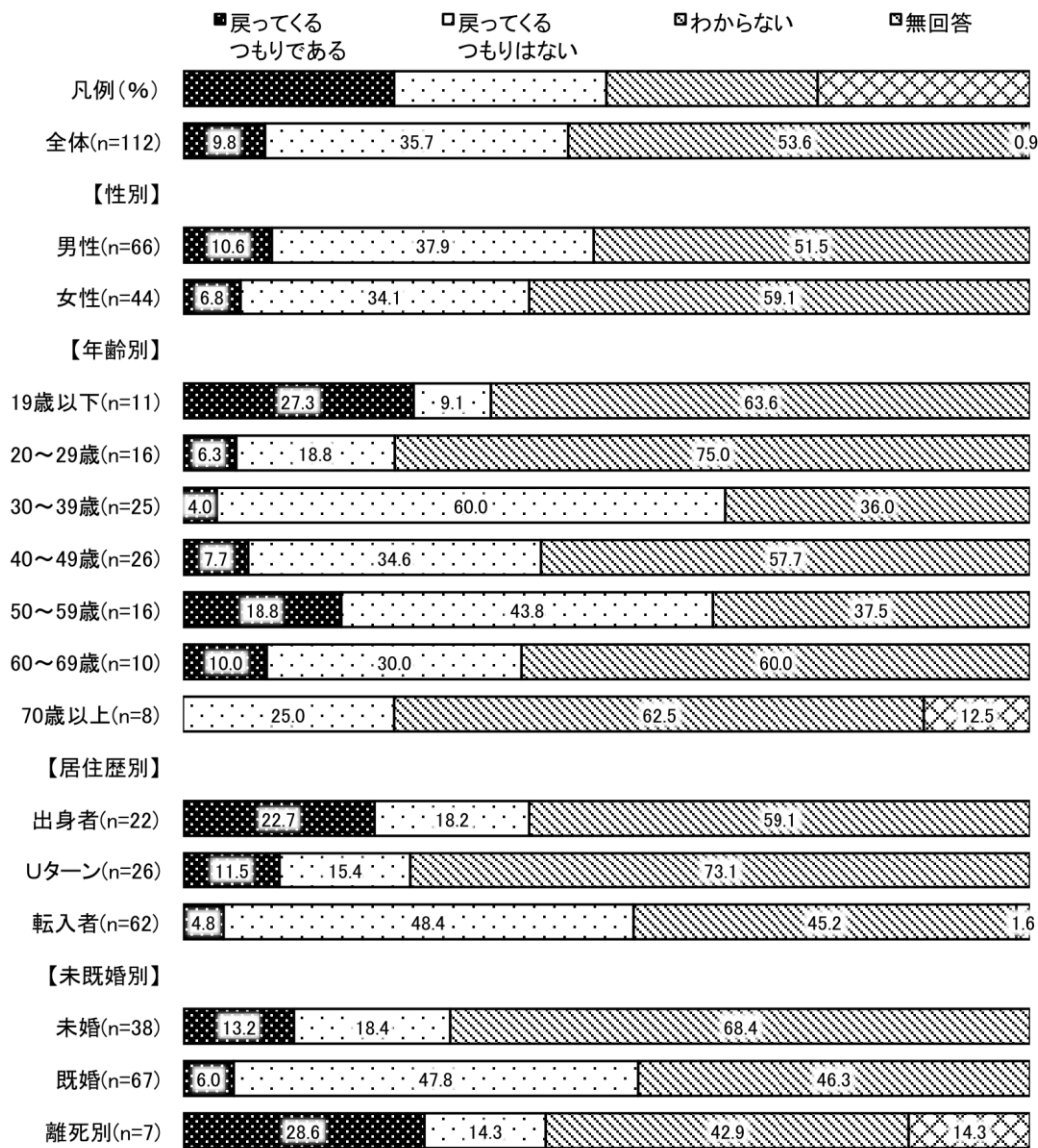
- 居住年数 30 年以上が 2/3 を占める。 出身者の約 85%、U ターン層の 7 割弱、転入者の 5 割強。
- 居住歴 10 年未満は全体の 7%だが、30 代では 1/3 を占める。 転入者が多いためと考えられる。
- 転入者全体では居住歴 10 年未満は 2 割。転入者の性年代別でみると、男性 50 代以下 49%、男性 60 代以上 6%、女性 50 代以下 39%、女性 60 代以上 0%。

【今後の転出予定】（問 28・複数回答）



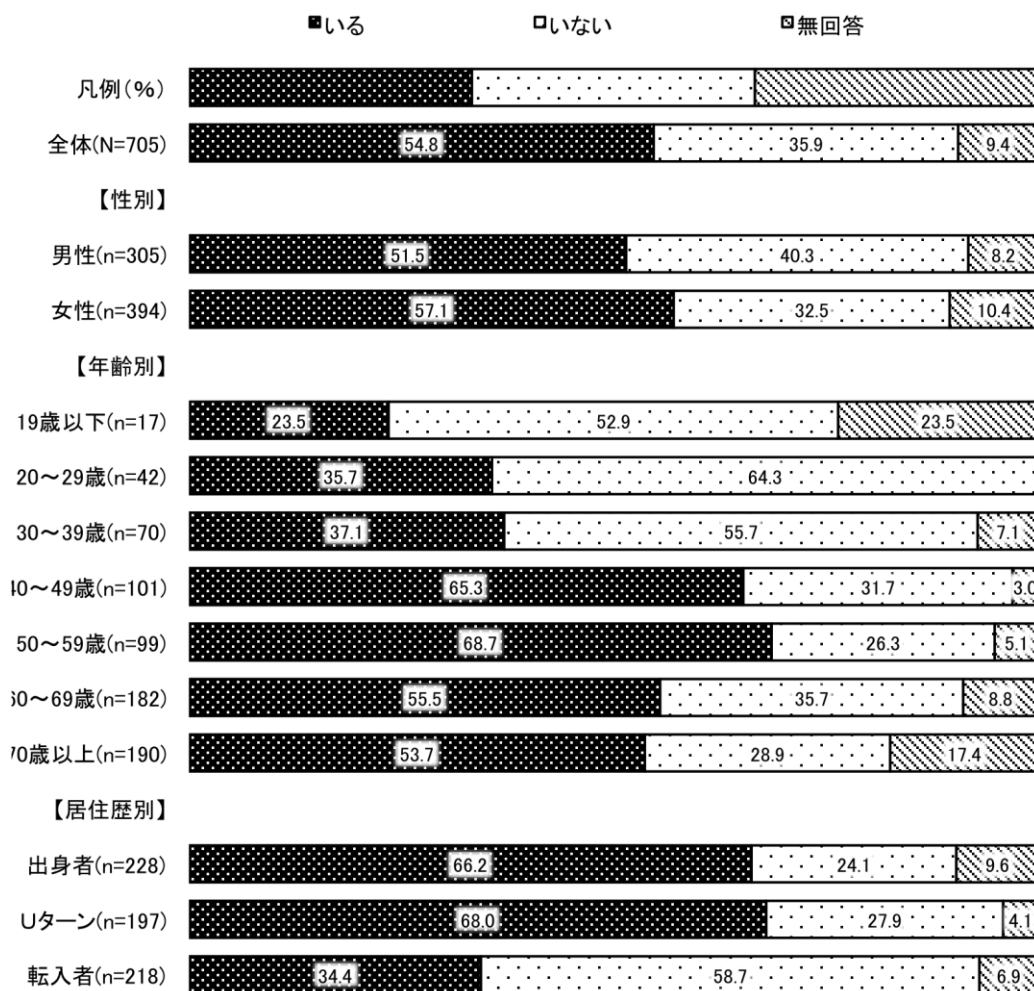
- 何らかの理由で新居浜市を転出する予定のある人は全体の 15%程度。
- 転出意向ありは、10代 (N=17) の 2/3 (進学のためが 4 割、就職・転職のためが 1/4)、20-30 代の 4 割 (20代は就職・転職のため、30代はその他の理由 (転勤か) がそれぞれ 1/4。)

【再転入予定】（問 29・転出意向のある人が 100%）



- 「戻ってくるつもりである」が1割、「戻ってくるつもりはない」が1/3だが、「わからない」が5割を超える。
- 「戻ってくるつもりはない」は30代 (N=25) で6割、転入者で5割と高い。転入者の男性50代以下 (N=25) では60%、女性50代以下 (N=25) では44%。

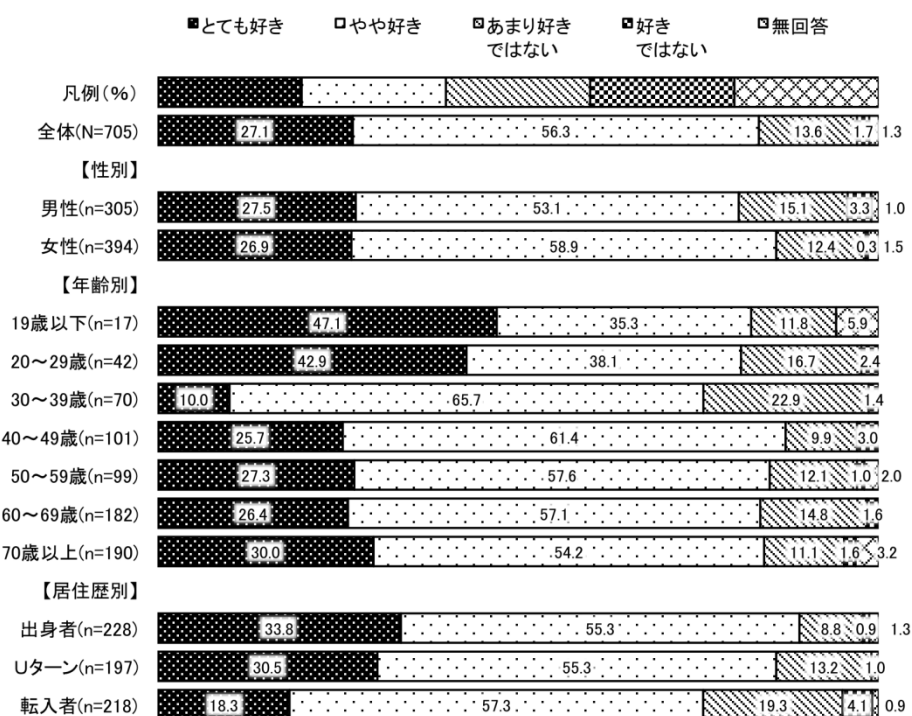
【市内で別居している親や兄弟姉妹の有無】（問 30）



■ 市内に別居している親や兄弟姉妹がいる人が5割を超える。出身者やUターン層では2/3、転入者でも1/3。

調査結果Ⅱ 新居浜市の評価

【新居浜市の好意度】（問1）

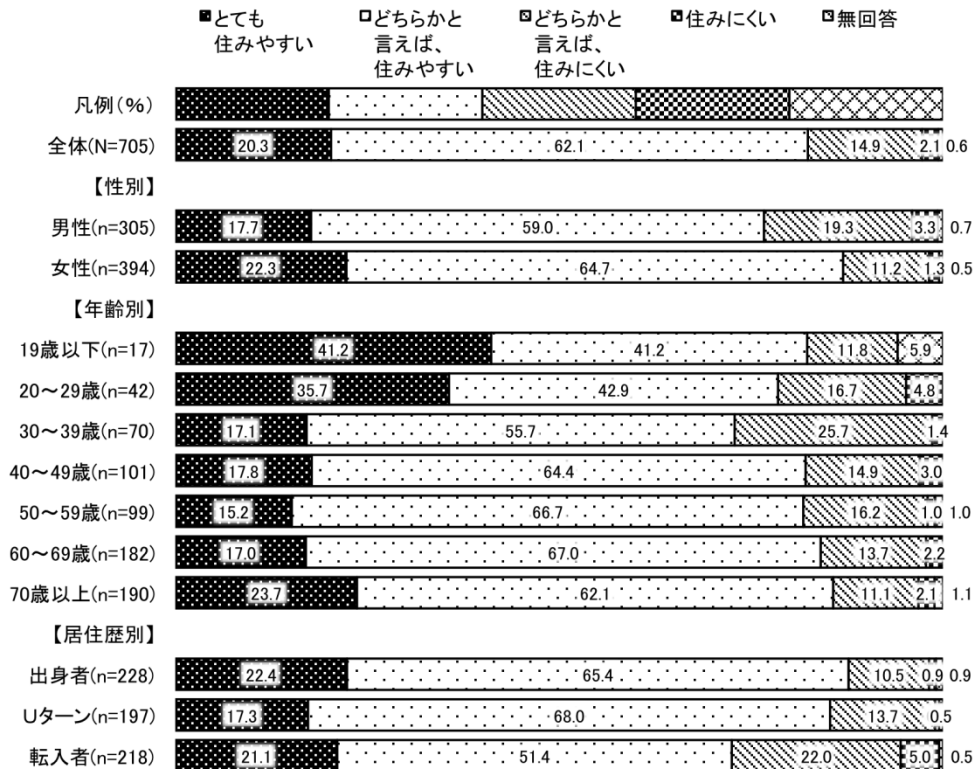


※加重平均値（とても好き～好きではないを、それぞれ2, 1, -1, -2点として計算）

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
0.95	0.87	1.01	1.25	1.02	0.60	0.97	1.00	0.92	1.03	1.14	1.04	0.67
	男-20 (28)	男30 (30)	男40 (55)	男50 (48)	男60 (72)	男70- (72)	女-20 (30)	女30 (40)	女40 (46)	女50 (51)	女60 (110)	女70- (117)
	1.18	0.37	0.84	1.02	0.90	0.88	0.97	0.78	1.13	0.98	0.93	1.16

- 新居浜市民の新居浜市の好意度は、加重平均値で **0.95**。
- 博報堂エリア HABIT 調査（2013）による全国（41 都道府県）の居住都道府県の好意度の平均は **1.03**、愛媛県民の愛媛県の好意度は **0.99** なので、平均的。
- 性年齢別では10代(N=17)が1.25と高いが、30代が0.60、30代男性が0.37と低い。
- 居住歴パターン別では、出身者1.14、Uターン1.04、転入者0.67である。また、居住歴5年未満(N=26)では0.58、10年未満(N=22)では0.50となっている。30代男性で好意度が相対的に低いのは、転入者が多く、居住歴が短いためと考えられる。

【新居浜市の住みやすさ】（問2）

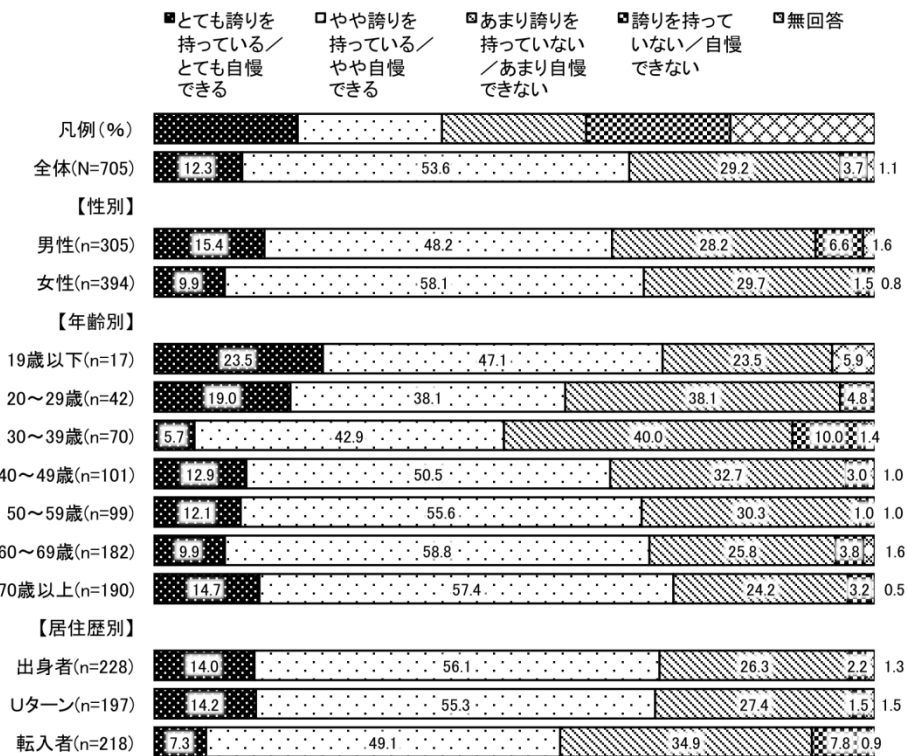


※加重平均値（とても住みやすい～住みにくいを、それぞれ2, 1, -1, -2点として計算）

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
0.84	0.69	0.96	1.19	0.88	0.61	0.79	0.80	0.83	0.95	0.99	0.88	0.62
	男-20 (28)	男30 (30)	男40 (55)	男50 (48)	男60 (72)	男70- (72)	女-20 (30)	女30 (40)	女40 (46)	女50 (51)	女60 (110)	女70- (117)
	0.93	0.23	0.51	0.79	0.78	0.78	0.97	0.90	1.13	0.81	0.87	1.08

- 新居浜市民の新居浜市の住みやすさは、加重平均値で 0.84。
- 博報堂エリア HABIT 調査（2013）による全国（41 都道府県）の居住都道府県の住みやすさの平均は 1.07、愛媛県民の愛媛県の住みやすさは 1.19 なので、やや低め。
- 性年齢別では、10 代（N=17）が 1.19 と高い一方で、30 代が 0.61、特に 30 代男性が 0.23 と低い。
- 居住歴パターン別では、出身者 0.99、U ターン 0.88、転入者 0.62 である。また、居住歴 5 年未満（N=26）では 0.35、10 年未満（N=22）では 0.55 となっている。居住歴の短い転入者が多い 30 代男性の数値が低いのは、好意度と同様の傾向。

【新居浜市住民であることの誇り／自慢】（問3）

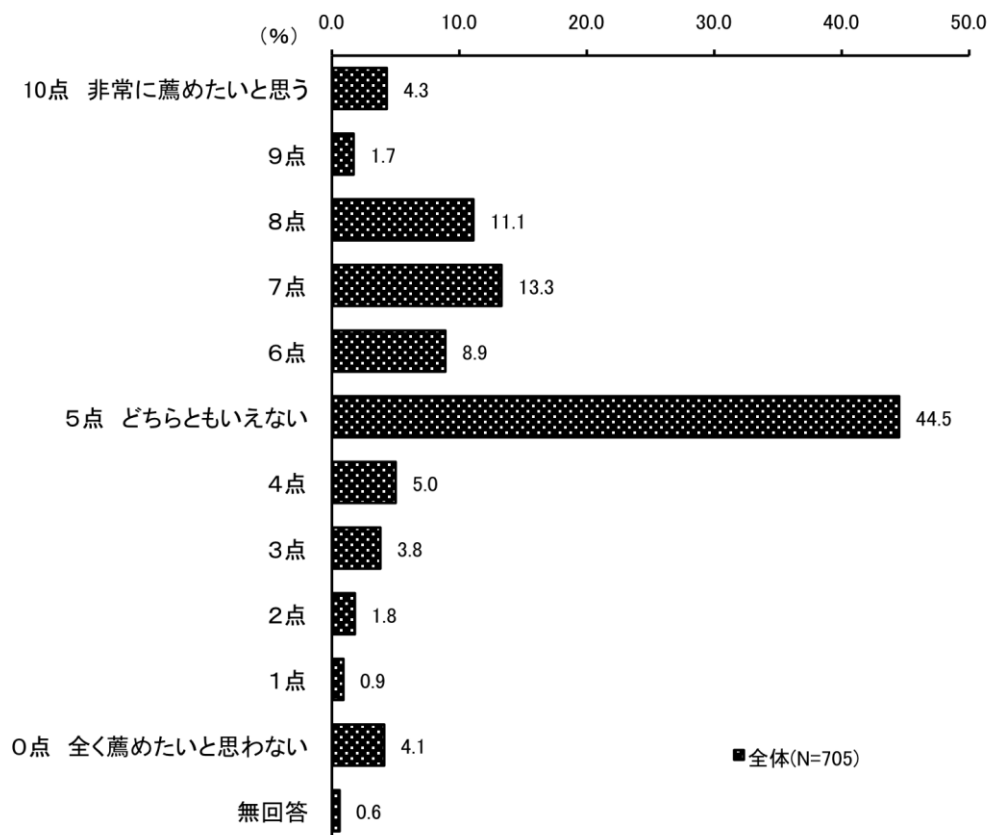


※ 加重平均値（とても誇りを持っている／自慢できる～誇りを持っていない／自慢できないを、それぞれ2, 1, -1, -2点として計算）

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
0.42	0.38	0.46	0.75	0.28	-0.06	0.38	0.48	0.46	0.56	0.54	0.54	0.13
	男-20 (28)	男30 (30)	男40 (55)	男50 (48)	男60 (72)	男70- (72)	女-20 (30)	女30 (40)	女40 (46)	女50 (51)	女60 (110)	女70- (117)
	0.70	-0.31	0.42	0.53	0.42	0.38	0.10	0.13	0.33	0.43	0.48	0.70

- 新居浜市民の新居浜市の誇り／自慢度は、加重平均値で0.42。
- 博報堂エリア HABIT 調査（2013）による全国（41都道府県）の居住都道府県の誇り／自慢度の平均は0.66、愛媛県民の愛媛県の誇り／自慢度は0.53なので、やや低めである。
- 性年齢別では、10代（N=17）が0.75と高い一方で、30代が-0.06、特に30代男性が-0.31と低い。また、20代女性が0.10、30代女性が0.13と他の年代に比べ低い。
- 居住歴パターン別では、出身者0.54、Uターン0.54、転入者0.13、居住歴5年未満（N=26）-0.50、10年未満（N=22）-0.23と、好意度や住みやすさと同様の傾向。

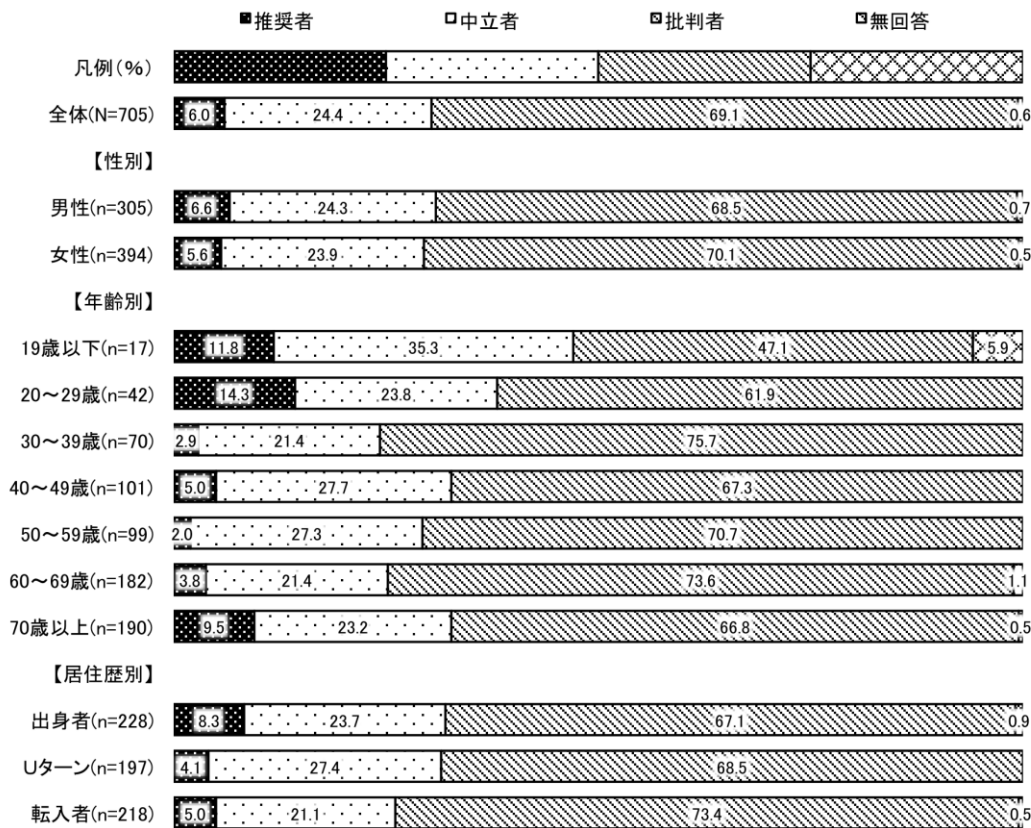
【新居浜市への居住推奨度（ネットプロモータースコア）】（問4）



※ ネットプロモータースコアは、その製品を人に薦めたい度合いを10点～0点の中から選んでもらうもので、真の顧客満足度を測る指標とされる。10, 9点を「推奨者」、8, 7点を「中立者」、6～0点を「批判者」として分類し、「推奨者」から「批判者」を引いた比率（ポイント）をネットプロモータースコアと呼ぶ。

※ スコアは製品カテゴリーによって異なり、直接比較できる基準値がないため、この数値が高いか低いかを一概に言うことはできない。以下では、主に層別の比較を行う。

■ 新居浜市民の市への居住推奨度は、5点「どちらともいえない」が45%と多く、推奨者6.0%、中立者24.4%、批判者69.0%で、ネットプロモータースコアは-63.0ポイントであった。

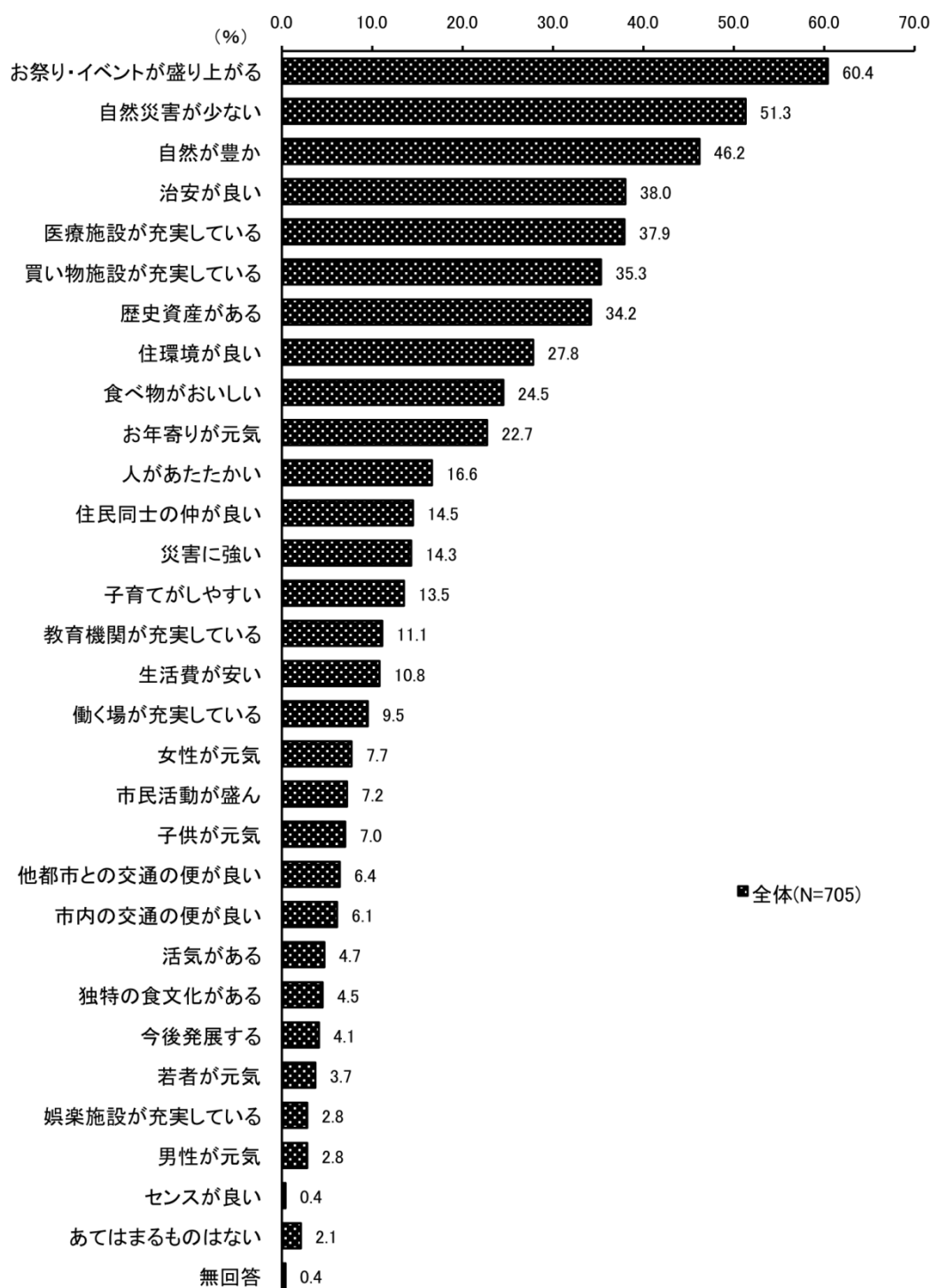


※ 上記は推奨者、中立者、批判者の比率のみを表したグラフ、下記はネットプロモータースコアの一覧である。

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
-63.0	-62.0	-64.4	-35.3	-47.7	-72.7	-62.5	-68.6	-69.7	-57.4	-58.6	-64.6	-68.3
	男-20 (28)	男 30 (30)	男 40 (55)	男 50 (48)	男 60 (72)	男 70- (72)	女-20 (30)	女 30 (40)	女 40 (46)	女 50 (51)	女 60 (110)	女 70- (117)
	-25.0	-86.6	-71.0	-68.7	-58.4	-58.5	-63.3	-62.5	-52.2	-68.6	-77.2	-56.5

- 全体のネットプロモータースコア-63.0 ポイントに対して、性年代別で最も高いのは20代以下男性の-25.0 ポイント。逆に最も低いのは30代男性で-86.6 ポイント。
- 居住歴パターン別では、出身者-58.6、Uターン-64.6、転入者-68.3。居住歴5年未満(N=26)は-84.5、10年未満(N=22)は-72.6となっている。

【新居浜市の印象】（問5）



※グラフは、数値の高い順にソート

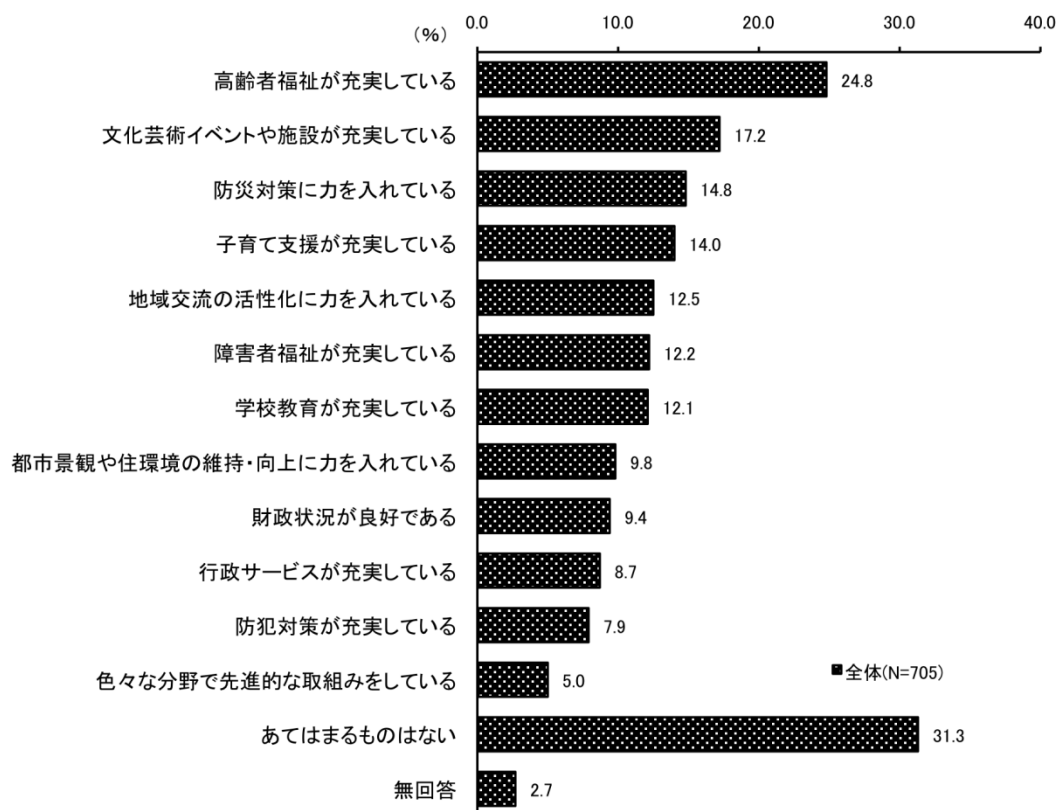
■ 上位には「お祭りが盛り上がる」「自然災害の少なさ」「自然の豊かさ」「治安」「医療施設・買い物施設」「歴史資産」等、下位には「活気」に関わる項目が並んでいる。

※下記は、各項目の回答率の単純平均値である。

全体 (705)	男性 (305)	女性 (394)	-19歳 (17)	20代 (42)	30代 (70)	40代 (101)	50代 (99)	60代 (182)	70歳- (190)	出身 (228)	U turn (197)	転入 (218)
21.6	21.0	21.8	29.2	19.5	18.3	17.3	18.0	22.3	25.8	23.1	20.4	20.3
	男-20 (28)	男30 (30)	男40 (55)	男50 (48)	男60 (72)	男70- (72)	女-20 (30)	女30 (40)	女40 (46)	女50 (51)	女60 (110)	女70- (117)
	<u>27.3</u>	16.2	16.6	17.3	22.3	<u>25.1</u>	15.9	19.8	18.1	18.7	22.4	<u>26.2</u>

- 回答率の単純平均値が高いということは、全般に市を肯定的に評価しており、イメージ総量も多いことを意味する。
- 全体の21.6%に対して平均値が高いのは、男性20代以下、女性70代以上、男性70代以上。逆に低いのは、女性20代以下～50代、男性30代～50代となっている。
- 男性20代以下、男女70代以上では全般に高い項目が多いが、その他の年代で相対的に高い項目としては、男性50代の「お祭り・イベントが盛り上がる」(79%)、女性30代・40代の「子育てがしやすい」(28%)が挙げられる。
- 新居浜市の総合評価（好意度、住みやすさ、誇り／自慢度、居住推奨度、継続居住意向）の高い層は、ほとんどの項目への評価が高い傾向にある（以下の個別評価でも同様）。
- 相対的に出身者で高く、転入者で低い項目には「お祭り・イベントが盛り上がる」（前者68%、後者54%、以下同様）、「治安が良い」（45%、27%）、「食べ物がおいしい」（28%、19%）などがある。

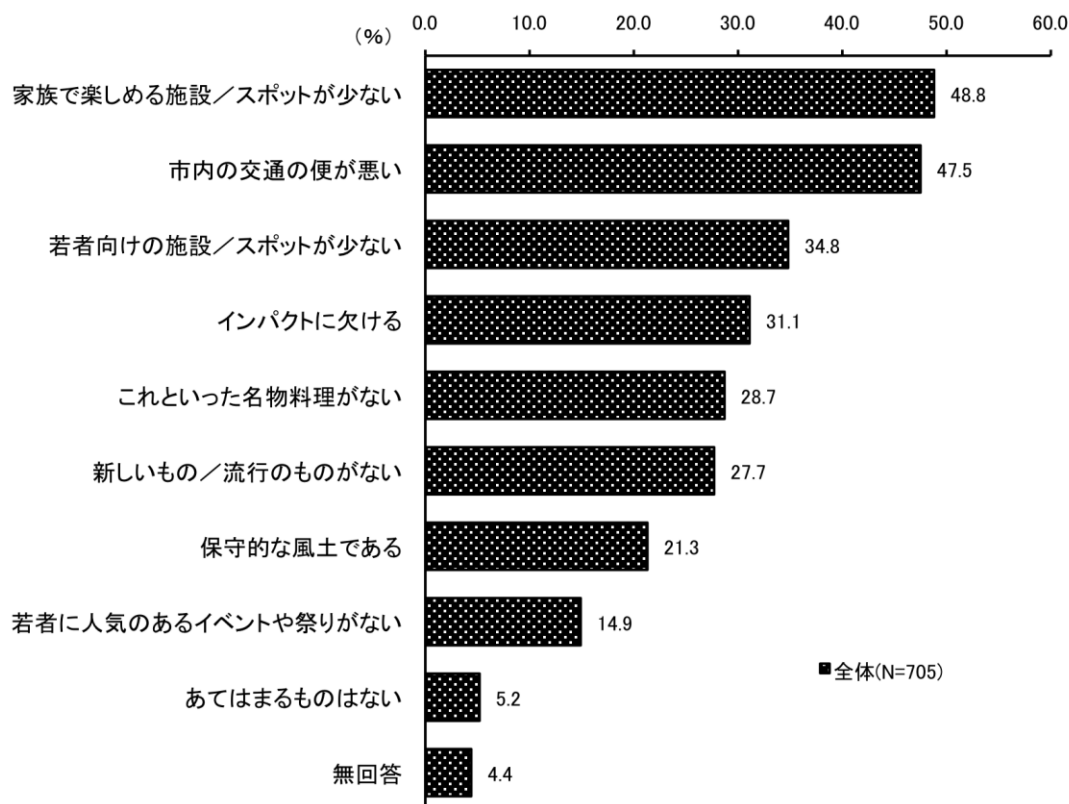
【新居浜市の施策についての印象】（問 6）



※グラフは、数値の高い順にソート

- 最も高いのは「高齢者福祉が充実」で 25%、「あてはまるものはない」が 31%とそれを上回る。「先進的な取組み」は 5%にとどまる。
- 年代別で相対的に高い項目は以下の通り。
 - 20 代以下：「文化芸術イベントや施設が充実」 37%
 - 30 代：「子育て支援が充実」 24%
 - 70 代以上：「高齢者福祉が充実」 38%
- また、居住歴 10 年未満では、「文化芸術イベントや施設が充実」が 27%と相対的に高めである。

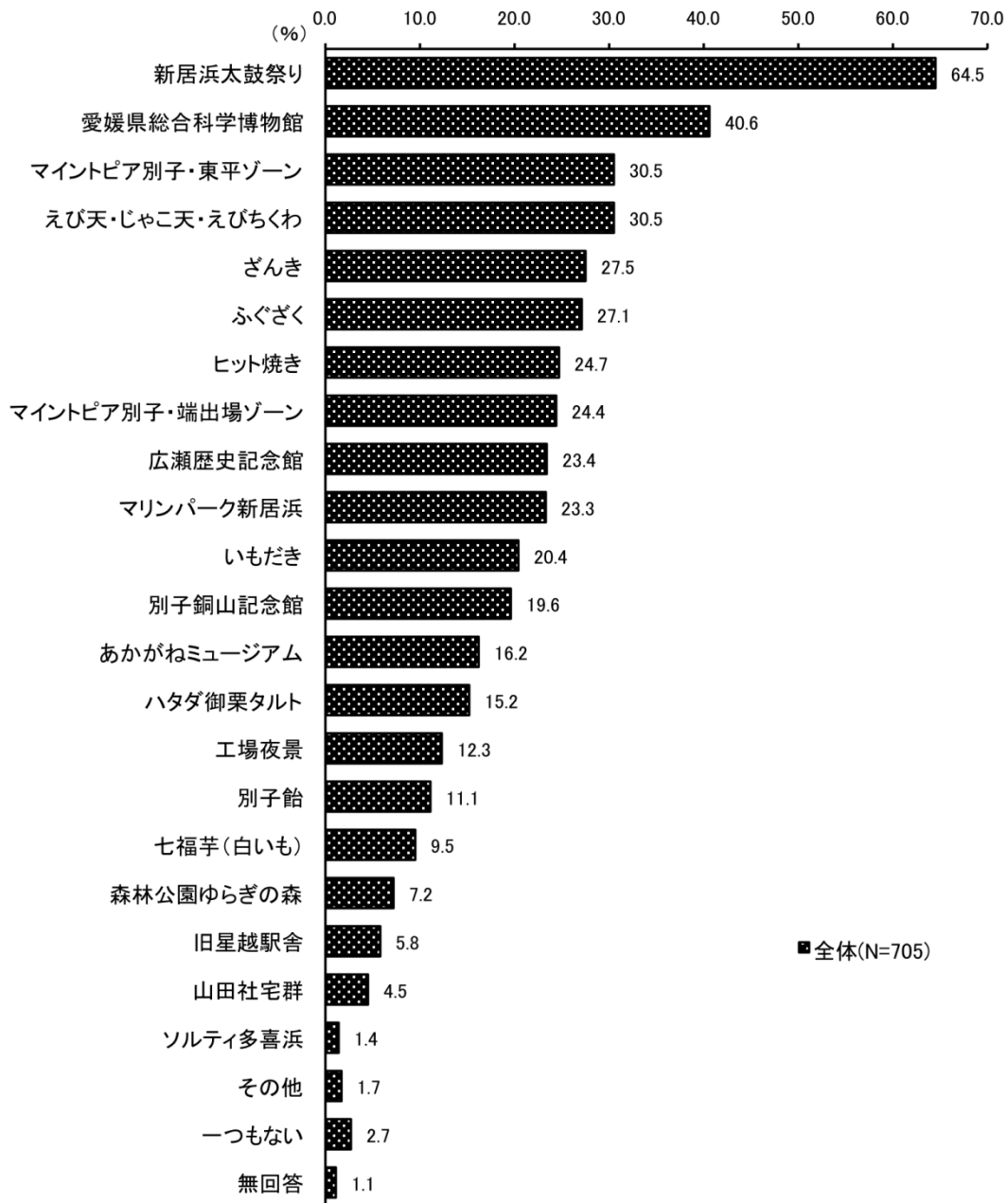
【新居浜市の魅力的でない点】（問7）



※グラフは、数値の高い順にソート

- 「家族で楽しめる施設が少ない」「市内の交通の便が悪い」を半数近くの人が挙げている。
- 「若者向けの施設が少ない」は20代以下で3/4、30～50代でも4割以上の人が挙げており、「新しいもの／流行のものが無い」は30代以下で半数の人が挙げている。
- 居住歴パターン別では、Uターン層で「インパクトに欠ける」が43%と相対的に高いのが目立つ。

【新居浜市の好きな地域資源】（問8）



※グラフは、数値の高い順にソート

■ 「新居浜太鼓祭り」を2/3の人が挙げ、他を引き離す。次いで、「愛媛県総合科学博物館」の4割、「マイントピア別子・東平ゾーン」「えび天・じゃこ天・えびちくわ」の3割が続く。

■ 年代別で相対的に高い項目は以下の通り。

20代：「新居浜太鼓祭り」76%

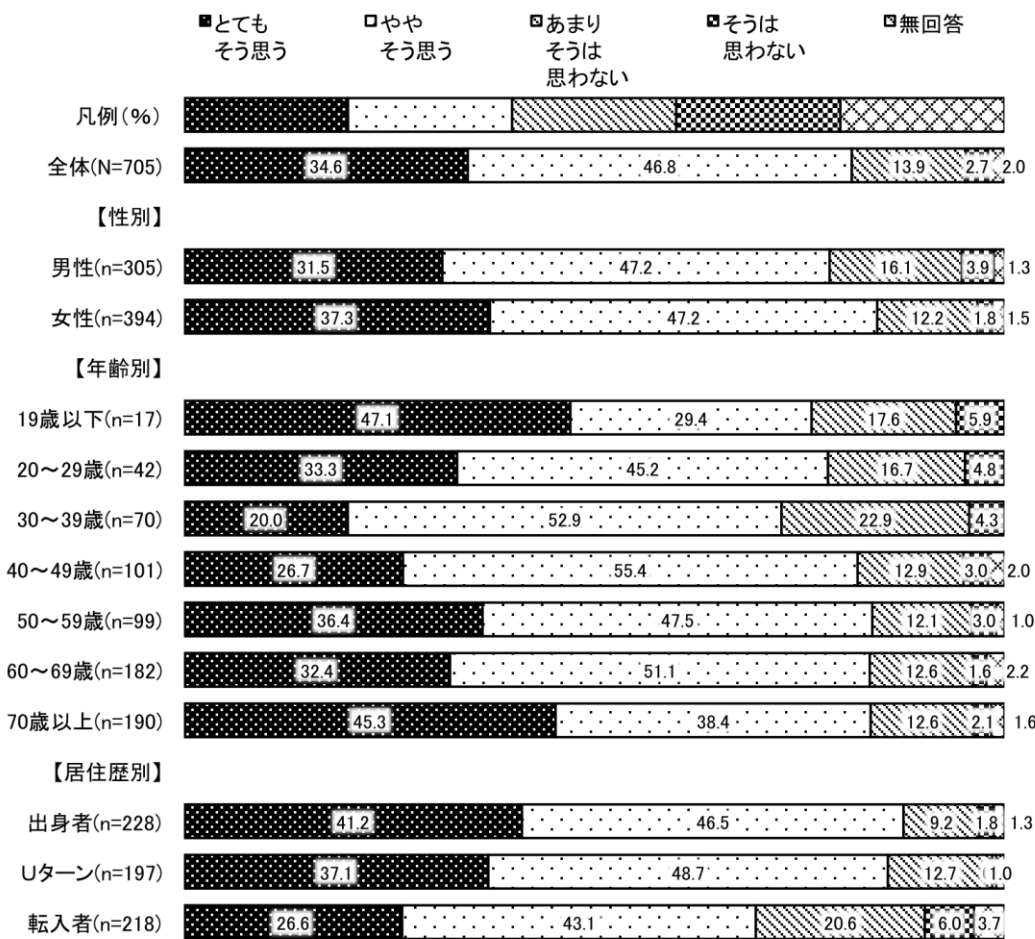
20代以下：「マリンパーク新居浜」が半数、「ざんき」が半数弱（30代でも高い）、「ヒ

ット焼き」が 1/3

60代以上：「えび天・じゃこ天・えびちくわ」が4割、「広瀬歴史記念館」が3割。「マイントピア」や「別子銅山記念館」も年配層ほど高めである（但し、10代も高い）。

- 「新居浜太鼓祭り」は「コア層」（新居浜市が「とても好き」「とても住みやすい」「とても誇りを持っている」、ネットプロモータースコアの「推奨者」）で8割前後と非常に高くなっている。
- 相対的に出身者で高く、転入者で低い項目には「新居浜太鼓祭り」（前者74%、後者50%、以下同様）、「えび天・じゃこ天・えびちくわ」（36%、23%）などがある。

【継続居住意向】（問 9）

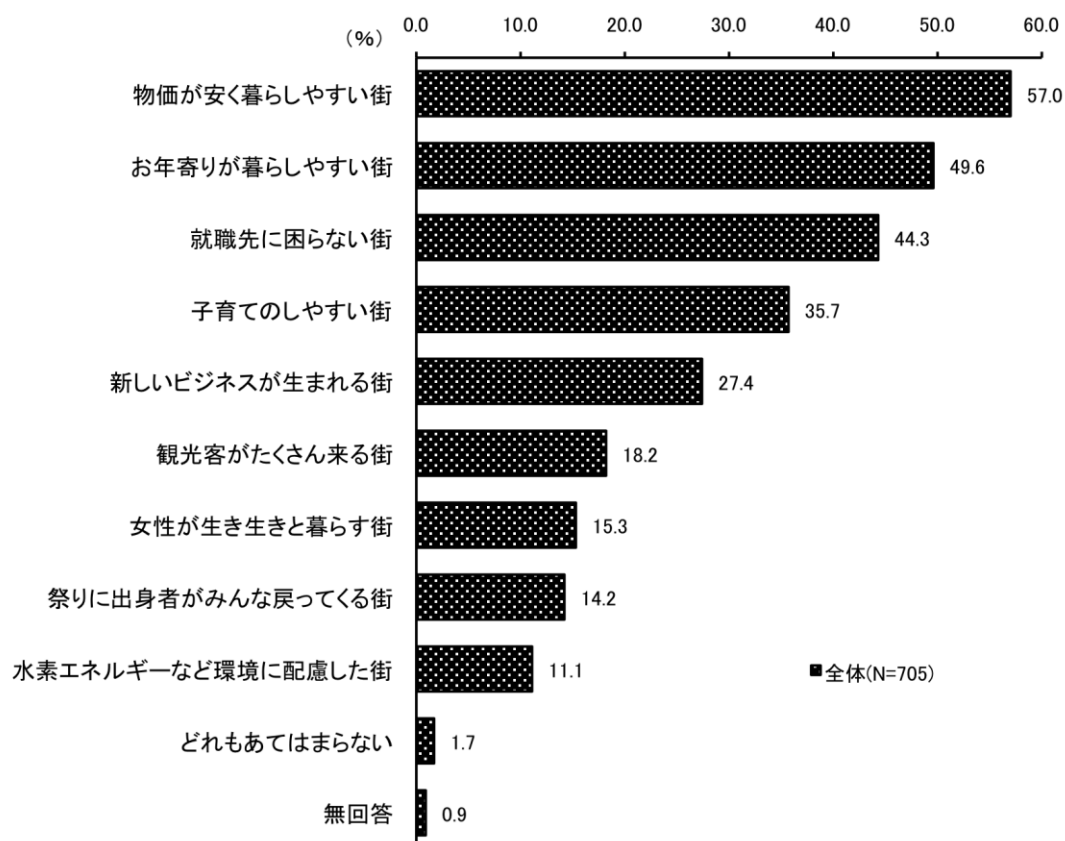


※加重平均値(とてもそう思う～そうは思わないを、それぞれ 2, 1, -1, -2 点として計算)

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
0.99	0.87	1.08	0.94	0.86	0.61	0.92	1.03	1.02	1.14	1.18	1.10	0.66
	男-20 (28)	男 30 (30)	男 40 (55)	男 50 (48)	男 60 (72)	男 70- (72)	女-20 (30)	女 30 (40)	女 40 (46)	女 50 (51)	女 60 (110)	女 70- (117)
	0.75	0.43	0.76	1.06	1.01	0.93	0.97	0.75	1.11	1.00	1.03	1.29

- 新居浜市民の新居浜市の継続居住意向は、加重平均値で 0.99。
- 性年齢別では、70代以上が 1.14 と高い一方で、30代が 0.61、特に 30代男性が 0.43 と低い。
- 居住歴パターン別では、出身者 1.18、Uターン 1.10、転入者 0.66 である。また、居住歴 5年未満 (N=26) では 0.04、10年未満 (N=22) では 0.32 と非常に低くなっている。

【今後の理想像】（問 10）



※グラフは、数値の高い順にソート

- 「物価が安く暮らしやすい街」「お年寄りが暮らしやすい街」「就職先に困らない街」がベスト3。
- 年代別で相対的に高い項目は以下の通り。
 - 20代：「就職先に困らない」57%、「子育てのしやすい」50%
 - 30代：「子育てのしやすい」66%
 - 50代：「新しいビジネスが生まれる」37%
 - 60代以上：「お年寄りが暮らしやすい」62%

要約

<新居浜市民の特性>

- ・ 調査対象者の 53%が 60 代以上（実際の人口構成比も 15 歳以上の 43%が 60 代以上）。
- ・ 出身者、U ターン、転入者の比率はおおよそ 1/3 ずつ。転入者が多いのは 30 代（男）。
- ・ 同居している子どもがいるのは 4 割弱（進学したら必ず市外へ）。別居している子どもがいるのは 6 割弱（その内訳は市内が半数弱、県内 1/4、県外 6 割）。
- ・ 大卒比率は出身者で 1 割強、U ターンで 5 割、50 代以下の転入者で 5 割強。
- ・ U ターン層の転出目的の 5 割は進学（20 代で 9 割）、新卒での就職、転勤が 2 割ずつ。
- ・ U ターン層の転入目的は親等との同居・近居が 3 割、新卒での就職、転職が各 15%。
- ・ 転入者の転入目的は結婚が 1/3、転勤が 2 割弱。50 代以下の男性に絞ると、転勤 3 割弱、転職、新卒での就職が 2 割程度。
- ・ 市内の通算居住年数は 30 年以上が 2/3。居住歴 10 年未満は全体の 7%だが、30 代では 1/3、転入者 50 代以下男性では 5 割、同女性では 4 割。
- ・ 今後の転出予定者は全体の 15%（20～30 代では 4 割）。その内、再転入意向ありが 1 割、なしが 1/3（転入者ではなしが 5 割）。

<新居浜市の評価>

- ・ 好意度は加重平均値（2, 1, -1, -2 点）で 0.95 点と平均的。30 代男性、転入者、居住歴 10 年未満で低い。
- ・ 住みやすさは 0.84 点、誇り／自慢度は 0.42 点で、全国や愛媛県と比べやや低め。継続居住意向は 0.99 点。30 代男性、転入者、居住歴 10 年未満で低いのは、好意度と同様。誇り／自慢度は 20～30 代女性も高くない。
- ・ 新居浜市の印象の上位は「お祭りが盛り上がる」「自然災害の少なさ」「自然の豊かさ」「治安」「医療施設・買い物施設」「歴史資産」等、下位は「活気」に関わる項目。男性 20 代以下、70 代が全般に高いのに対して、女性 20 代以下～50 代、男性 30～50 代は低め。総合評価の高い層はどの項目に対しても高めの評価。
- ・ 魅力的でない点は「家族で楽しめる施設が少ない」「市内の交通の便が悪い」が半数近く。「若者向けの施設が少ない」は 20 代以下で 3/4、30～50 代で 4 割以上。
- ・ 好きな地域資源は「新居浜太鼓祭り」が 2/3 で他を引き離す（総合評価の高い層では 8 割前後）。「新居浜太鼓祭り」が 20 代で高いのに対して、「えび天・じゃこ天・えびちくわ」「広瀬歴史記念館」「マイントピア」「別子銅山記念館」は年配層ほど高め。